

ワークショップ「杖をつくろう」
2018年11月 香美市地域集合活動センター（高知）



ワークショップを行った地域は、その数ヶ月前に豪雨に見舞われ、山が崩れ多くの流木が川から湖に流れ着いていた。それらを集め、参加者それぞれが、自分のイメージや体に合う形の流木を選び、杖をつくるワークショップを行った。

ワークショップの場には、あらかじめここ数年撮ってきた杖の写真を展示。身近に見られる高齢者のための杖以外に、権力や魔術、祭祀、ファッションなど、さまざまな働きをもつ杖があることを紹介し、導入とした。道具と使うひととの関係について思いを巡らし、それぞれ「誰のために」「どんな働きをもつか」などを考えながら、杖を制作。できあがったものの撮影まで行った。



住民と協働しながら、高齢化が進む地域での貸し杖をつくっている、小学6年生の授業に招かれ、これまでの杖の researched について経験談を話すとともに、世界に見られる多種多様な杖の用途や装飾について紹介した。



